

伊賀市 事務事業評価シート

整備事業

事業名	734	土地改良施設維持管理適正化事業	会計	01	一般会計
基本施策	42	持続的で個性的な農林業を実践する。	款	06	農林業費
担当部課名	産業振興部 農林政策課		項	01	農業費
作成者氏名	光岡 菊郎	連絡先	目	05	土地改良事業費
			細目	101	土地改良事業管理経費
			細々目	02	土地改良施設維持管理適正化事業

事業の計画・内容

整備 整備補修が必要と認められた土地改良施設の適正な整備補修を行います。	整備内容	1 整備面積等 2 規模・構造 3 総事業費(千円)	木興揚水機場ポンプ取替え等 14,000
---	------	----------------------------------	-------------------------

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)	
①投入人員	正規職員 (人)	0.5	0.5	0.5	
	人件費合計(A)	3,600	3,600	3,600	
②支出内訳(千円)	事業費(B)	21,947	39,493	30,819	
	委託料	966	354	354	
	工事請負費	12,865	28,561	20,000	
	負担金、補助及 その他	7,947	10,113	10,000	
合計(A+B)		25,547	43,093	34,419	
③財源内訳(千円)	特定財源	国県支出金			
		地方債			
		受益者負担	1,856	2,624	2,624
	一般財源	11,091	14,099	5,425	

上記①～③に関する特記事項
 工事費用の30%を国、30%を県、残り30%を市が5年に分割して拠出し、合計90%を工事実施年度に交付金で受領。②の負担金、補助および交付金が5年分割の拠出金にあたる。

根拠法令・要綱等
 土地改良施設維持管理適正化事業実施要綱
 関連事業

事業年度
 開始年度 昭和 52 年度 終了年度 平成 年度

進捗状況

区分	年度				
	H17	H18	H19	H20	H21
整備工事	12,865	28,561	20,000	15,000	12,000
特別賦課金	7,947	10,113	10,000	10,000	10,000
進捗率					

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	目標
整備採択箇所数	事業の採択条件を満たす地区のみが事業化が可能となるため、採択箇所数をもって指標としました。	平成 20 年度 2箇所

事業開始時からの状況変化等

当該事業によって土地改良施設の大規模な修繕が可能となり、受益者の改修要望に応えることができています。また、事業負担金を5年に分けて拠出することができるため、1年にかかる負担も少なく、拠出期間中の工事着工も可能で、改修計画にゆとりを持つことができます。ただし、施設診断による補修施設に該当しなければなりません。

評価	必要性	4	国、県費が各々30%の補助率で、受益者負担の軽減を図る制度であるため、今後も当事業を導入して施設の補修を行う必要がある。	総合評価 A
	有効性	4		
	達成度	2		
	効率性	4		